

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

平成30年11月8日（木）

2 確認箇所

5／6号機コントロール建屋（5号機電気品室）

3 確認項目

5号機電気品室溢水事象への対応状況

4 確認結果の概要

今年9月23日、東京電力社員がパトロールをしていたところ、5号機電気品室内が地下水等によって床上5cm程度冠水していることが発見された。その後、応急対策として床面の清掃及びストームドレンサンプ^{※1}への導水等が行われ、設備運用には支障ないことが確認された。

今回、次の3つの暫定的な流入防止対策等が実施されていることを確認した。

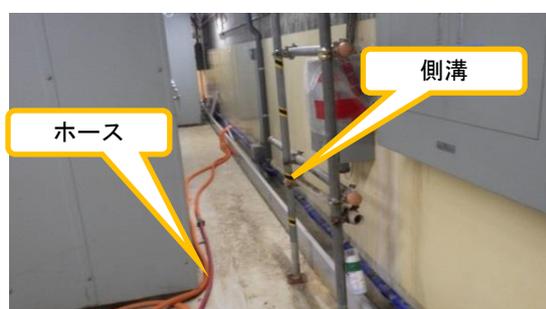
- ①流入量増加に備えて流入箇所下部に仮堰を設置し、地下水等が流入した場合、水は仮堰内に設置された水中ポンプで汲み上げられ、ホースを通し部屋の周囲に設置された側溝へ移送され、そこからストームドレンサンプに導かれるようになっていた。（写真1）
- ②仮堰を溢水した場合に備え、漏えい検知器が設置されていた。（写真2）
- ③漏えい検知器の作動時、速やかに現場確認できるようWEBカメラが設置されていた。（写真3）

※1 ストームドレンサンプとは、非放射性である海水等を内包する機器からの排水等を受ける貯水槽のこと。



(写真1-1)

流入箇所下部の状況



(写真1-2)



(写真1-3)
ストームドレンサンプ



(写真2)



(写真3)

- 5 プラント関連パラメータ等の確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。